

令和8年度第1回厚木市学校給食センター運営委員会会議録

会議主管課 教育部学校給食課
会議開催日時 令和8年7月6日（月）午前10時30分～午前11時30分
会議開催場所 厚木市北部学校給食センター2階 会議室
出席者 厚木市学校給食センター運営委員会委員13人
教育部長及び学校給食課職員8人
司会 学校給食課長
説明者 学校給食課職員

委嘱状交付式

委嘱状交付

あいさつ 佐後教育長

会議経過は、以下のとおりです。

- 1 開会 学校給食課長
委員及び事務局の紹介、資料確認
厚木市学校給食センター運営委員会について（参考資料1及び2に基づき説明）
- 2 会長及び副会長の選出
 - （1）会長の選出
会長に永桶委員（玉川中学校校長）を選出
会長 あいさつ
 - （2）副会長の選出
副会長に篠崎委員（妻田小学校PTA役員）を選出
- 3 案件
以下、永桶会長により議事進行
事務局の説明及び委員からの質疑、意見は次のとおりです。
 - （1）附属機関における会議録の形式について 【資料1 参照】
発言者の氏名は、記載した形で公表、発言内容は、要約記載とすることで全員同意
 - （2）令和8年度学校給食に係る実施計画について 【資料2 参照】
 - 1 令和8年度学校給食実施予定について
令和8年度から中学校給食の実施回数を2回増やし、小学校は187回、中学校は167回を予定しています。この回数は、基準学年の回数となり、行事等の都合で学年ごとに回数が異なります。また、給食回数については、調理場の稼働日数になりますので、給食実施回数とは異なります。
 - 2 食物アレルギーのある児童・生徒に対する給食の提供について
食物アレルギーのある児童・生徒に対する給食の提供は、「厚木市立小・中学校食物アレルギー対応マニュアル」及び「学校生活管理指導表」に基づき、完全除去を基本とした対応を行っています。

令和5年4月から、全ての市立小・中学校において5品目の除去食対応を行っており、それ以外の品目及び除去できない献立の場合は、原因食物を含む献立を配膳しない対応を行っています。

令和8年度も上記対応を実施するとともに、食品表示基準の一部改訂に合わせ、「食物アレルギー対応マニュアル」の改訂を行っています。

3 郷土料理、地場農産物の給食への導入について

(1) 郷土料理の取入れについて

令和8年度は、6月に豚肉の味噌漬け焼き、9月に月見汁、1月に厚木風雑煮、2月にはあつぎの「かてめし」と豚肉の味噌漬けフライを予定しています。

なお、その他にも特色ある給食を計画しており、5月に実施した「ベ이스ターズ青星寮カレー」のほか、2学期以降には、県央やまなみ地域の各市町村で人気の献立等を提供する「県央やまなみ献立」を予定しています。

(2) 地場農産物の取り入れについて(資料参照)

市立小・中学校全校で、厚木産の農畜産物を取り入れた給食を提供する「パクパクあつぎ産デー」を実施しています。

令和7年度は、各校の平均で月約5.5回、「パクパクあつぎ産デー」を実施しました。

令和8年度についても、引き続き月5回を目標に「パクパクあつぎ産デー」を実施するとともに、学校給食への地場農畜産物の取入れについて、関係機関と協力しながら取り組んでいきます。

【質疑応答】

廣瀬委員 各学校では、熱中症対策等に取り組んでいるところですが、国の方からも夏季の授業日数を減らしていくという話が出ています。

厚木市では、平成29年度の教育課程の編成において、給食回数を増やしてもらいましたが、今後、授業日数削減に合わせて、減らしてほしいという場合には、どのように進めていけばいいのか。

事務局 昨年度、中学校給食の実施回数を増やした時には、まず中学校の校長会で意見をまとめ、教育委員会へ申し入れをいただきました。その後、市民参加手続き等を実施し、規則改正を行って実施回数を増やしました。

減らす場合も同様の手続きが必要となりますので、まずは小学校校長会に諮っていただければと思います。

廣瀬委員 来年度の4月から実施(削減)したい場合は、いつごろから話し合いをすればいいのか。

事務局 昨年度、中学校から意見を頂いた際には、6月に申し入れをいただいて、今年4月から実施できたということです。これから始めた場合、来年4月からの変更については、難しいと思います。

大澤委員 回数を変更する場合は、予算にも影響するので時間が掛かるのか。

事務局 予算だけではなく、規則で定めているので、規則を変更する場合には、市民参加手続きを実施することとなっています。また、庁内において、規則改正の承認等も行いますので、その手続きに時間が掛かってきます。

(3) 学校給食用物資納入登録業者について 【資料3参照】

物資納入登録業者については、市の資格者名簿に登録されている業者のうち、学校給食用物資の取り扱い要件に適合する事業者から登録することとなっており2年に1回、登録を行っています。

今年度の登録業者は、21 者となっています。

パン、米飯、麺、牛乳については、公益財団法人神奈川県学校給食会が指定した業者が納入しています。

(4) 学校給食費について 【資料4参照】

学校給食費については、先生方の負担軽減と安定した給食の提供のため、平成 25 年度から公会計に移行し、市で給食費の額を決定し徴収しています。また、令和 6 年 4 月から県内 19 市で初めて市立小・中学校の児童・生徒の学校給食費を無償化しました。

それに合わせて、食物アレルギーや私立小・中学校に通っている等で、学校給食費無償化の対象にならない小・中学生の保護者に対して、給食費相当額を給付する事業を行っています。この制度については、県内で厚木市が初めて導入した事業となっています。

1 学校給食費一覧

児童・生徒 1 人あたりに掛かる食材費で、無償化されている額を示しています。学年によって額が異なるのは、学校行事等で給食実施回数が異なるためです。

2 学校給食費収入実績調べ

公会計が開始された平成 25 年から令和 7 年度までの実績を示したものです。

未収金の徴収については、納期限ごとの督促状の発送を始め、催告書の発送、コールセンターによる納付勧奨、戸別訪問、弁護士による電話催告徴収等を行い、未納給食費の回収に努めています。また、令和 5 年度からコンビニ納付や電子納付を行っています。

令和 6 年度から給食費は無償化しましたが、未納分につきましては、引き続き回収に努めて行きます。

【質疑応答】

廣瀬委員 南部学校給食センターから提供された給食について、調理機器の故障で焦げた料理が提供されたことがあった。今は修理され改善されたが、それを踏まえて給食センターの運営費は足りているのか、気になっている。

事務局 南部学校給食センターは、稼働以来、安心安全な給食を提供するため、調理機器を含め、施設の維持管理の中で修繕を行いながら大切に使っていますが、修繕ができないものについては、新しいものに入れ替えて対応しています。

状況を見ながら、予算を付けていますが、機器の故障など緊急的なものについては、補正予算を組んで対応していますので、運営費については、足りています。

廣瀬委員 国も給食費の無償化を行うので、市としても予算が浮くのであれば、是非、南部学校給食センターの運営費に予算を付けてもらいたい。

4 その他

5 閉会 副会長

会議終了後、北部学校給食センター紹介ビデオを視聴した後、中学校給食を試食して終了しました。